

令和 7 年 10 月定例教育委員会 議事録

日 時：令和 7 年 10 月 20 日（月） 15 時 00 分～

場 所：江北町公民館講座室

出席者：教育委員 全員

1 開会・町民憲章唱和

開会が宣言され、出席者全員で江北町民憲章を唱和した

2 会議確認

出席委員は全員であり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 24 条第 3 項の規定に基づき、会議が有効に成立したことが確認された

3 教育長あいさつ（牟田教育長）

牟田教育長より、以下の内容について挨拶があった。

（1）学校訪問

先週、中学校を訪問。生徒たちが意欲的に学習に取り組んでいる様子が伺えた。

（2）学力向上

学力向上は重要な課題の一つ。駅伝のタスキと同様に、前年度から継続して教育に取り組むことが学力定着につながる。

（3）英語検定の実施

10 月 3 日に中学生全員（希望者）に英語検定を受験していただいた。今月末に結果が出るが、初年度であり、結果そのものよりも、生徒たちの学習意欲の向上や、達成感を味わうきっかけになることを期待している。

（4）オーストラリア交流団受入

先日、オーストラリアからの交流団を受け入れ、みんなの公園での歓迎セレモニー等を実施した（詳細は後ほど報告）。

（5）小学校ふれあい道德公開授業

先週、小学校で道德の公開授業が開催され、平日の午前中にもかかわらず 8 割から 9 割の保護者が参加した。町の教育に対する関心の高さを感じており、親が授業参観することは子供の成長にとって効果的であるため、今後も参加を呼びかけたい。

（6）家庭での関わり

子供たちに対して「期待している」と伝えることが基本。スポーツや勉強など分野を問わず、子供の好きなことを応援し、頑張りを認める声かけが重要である。

（7）学校の安全管理

今夏は特に熱中症対策に注力したが、今後も暑さが予想されるため、来年度以降の行事の時期についても検討が必要。事故防止についても学校へ再度呼びかける。

(8) 学校給食の異物混入事案

先日、洗米システムの老朽化により、米飯に 0.1mm の異物混入の可能性が判明し、提供を中止した。給食提供前に発見し、ヒヤリハットの段階で対応できたことは称賛すべきことと捉えている。本件は老朽化が原因であり、当面は無洗米で対応し米飯給食を再開している。全体の炊飯システム更新の時期に合わせて見直しを行いたい。

4 議事録承認

令和 7 年 10 月 3 日に開催された臨時教育委員会の会議録について、原案通り承認された。

5 報告事項

(1) 報告第 26 号：令和 7 年度 第 5 回、第 6 回教育長会について

教育長より、第 5 回（9 月 16 日開催）および第 6 回（10 月 10 日開催）の教育長会について、主要なトピックを中心に報告が行われた。

○ 第 5 回教育長会（9 月 16 日）報告

- 教師志望者減少対策：佐賀新聞「みんなの夢」コーナーで教師を目指す児童に、教育事務所からメッセージを送る取り組みを実施。養護教諭志望の児童に、その学校の養護教諭から手渡してもらったところ、児童・保護者から感謝の言葉があり、温かい気持ちになったとの報告があった。
- 教員採用試験：秋選考（11 月 15 日・16 日）および、さが UJI ターン特別選考（11 月 15 日）を実施する。
- 意見交換（家庭学習について）：吉田前教育長（江北町）から「家庭学習が落ち込んでいる」との問題提起があり、各市町の取り組みについて意見交換が行われた。
 - 大町町：「子育て座談会」を開いているが保護者の参加が少ない
 - 白石町：スマホ利用時間が長く、利用時間が短い児童生徒ほど学力が高い傾向
 - 太良町：「生活習慣取組表」を点数化して実施。生活を見直すきっかけになっている
 - 有田町：学習の手引き「ありたっこ」を作成。ICT 利活用と学力に相関は見られない
 - 鹿島市：児童生徒の語彙力が乏しい。伝承芸能など地域と関わる機会を設けたい

- 伊万里市：読書量が少ない。コミュニティセンターの図書館を地域と共有
- 嬉野市：NIE（Newspaper in Education）を指定校で実施。新聞を読み感想を書かせている。朝読書が基盤となっている

○ 第6回教育長会（10月10日）報告

- 教員の勤務時間：OECD調査によると、日本の教員の勤務時間は世界最長である。前年度より小中学校ともに4時間程度減少しているが、依然として長い。
- 同僚性：同僚性（同僚との信頼関係など）に関する調査結果が低下傾向にあり、懸念事項となっている。
- 「給特法」改正への対応：
 - 給特法改正に伴い、教員の調整額（現行4%）を来年度から段階的に引き上げ、最終的に10%を目指す動きがある。
 - これに伴い、各市町教育委員会は「業務量管理・健康確保措置実施計画」の作成が求められる。
 - 計画作成にあたっては、文科省が示す「学校と教師の業務の3分類」（①学校以外が担うべき業務、②教師以外も担える業務、③教師が担う業務）を参考に、業務の明確化・適正化を図る必要がある。
 - 県がR8年3月までに計画を策定した後、市町教委も作成することになる。
- 各種案内：
 - 小中高を通じた英語教育強化推進事業にかかる公開授業（11月7日、大町ひじり学園）
 - 佐賀県コミュニティスクール研究大会（10月28日、アバンセホール）

○ 質疑応答（報告第26号）：

- 坂元こども教育課長より、「給特法」改正に伴う計画作成について、県が3月に雛形を示してからでは市町の対応が遅れるのではないかと。進め方等について、教育事務所単位で担当者レベルの会議を開催するよう県に働きかけてはどうか、との意見が出された。
- 教育長は、次回の教育長会等で県に働きかけていく旨を回答した。

(2) 報告第 27 号：9 月町内校長研修会について

教育長より、9 月 30 日開催の町内校長研修会 について報告があった。

- 一人一台端末の更新： R9 年 4 月から学習端末を Chromebook に更新する予定 R8 年 11 月には町教委へ端末が到着予定である。
- 学校からの要望：
 - 学校現場から、生成 AI およびデジタル採点ソフトの導入希望が出ている。
 - 教育長より、生成 AI については、無料版では限界があるため有料版の導入を検討したい考えが示された。まずは生徒に利用させる前に、教員が教材研究、テスト作成、保護者向け文書作成などで試用し、教育 DX や働き方改革につなげたいとした。
 - デジタル採点ソフトについては、精度の向上により効果が期待でき、生徒数に応じた契約が可能である旨の説明があった。
- 質疑応答（報告第 27 号）：
 - 田中委員より、生成 AI の具体的な使用方法について質問があった。
 - 教育長は、前述の通り、まずは教員が教材研究や文書作成等で使用することを想定していると回答した。

(3) 報告第 28 号：海外こども交流団について

峯こども教育課長代理より、令和 7 年度江北町海外交流事業 について報告があった。

- 受入概要：
 - 学校名： エンカウンター・ルーサラン・カレッジ（オーストラリア）
 - 日程： 令和 7 年 10 月 7 日（火）～9 日（木）
 - 人数： 生徒 16 名（15～17 歳、日本語学習者）、引率者 3 名
 - 受入家庭： ホストファミリー 8 家族、サポートファミリー 8 家族
- 活動報告：
 - 学校交流（10/7-8）：
 - 中学校： 歓迎セレモニー（合唱、学校紹介など）、授業参加（英語、体育、剣道、書道、技術）、給食
 - 小学校： 授業参加（1 時間目、ドッジボールや書道、英語など）

- 先生同士の交流（10/8）： 江北町の教員とルーサラン・カレッジの引率教員が、特別支援教育について意見交換を行ったほか、江北ひかりこども園の見学も実施した。
 - 歓迎交流会（10/7）： みんなの公園にて、ホストファミリー、サポートファミリー合同で歓迎交流会（夕食会）を実施した。
 - サポートファミリーとの交流（10/8 午後）： 各家庭が自由企画で交流嬉野（シーボルトの湯、足湯）、武雄神社、祐徳稲荷神社、江北イオン、パノラマ孔園（BBQ）、ゆめタウン佐賀（着物体験）などを訪問した。
- 反省・課題（質疑応答含む）：
- 峯こども教育課長代理より、オーストラリアの生徒が遠慮しがちな場面も見られたため、今回はアイスブレイクのゲームを導入するなど、より交流が深まる場づくりが必要との所感が述べられた。
 - ホストファミリーからは「生徒が小食だった」「連絡用にスマホを持たせてほしい」といった意見があった。
 - 保護者からは「小学生は、もう少し英語を勉強してから派遣させた方が良かったのでは」との意見があった。
 - 参加する江北町の子供たちの熱量に差があり、親の意向で参加しているケースも見受けられるとの指摘があった。
 - 坂元こども教育課長より、今年度受入は小学6年生～中学2年生家庭だったことにより、令和8年度派遣は中学1年生～中学3年生が派遣対象となる旨や、派遣費用が高額化している状況について説明があった。小学生の派遣の是非については、来年度の派遣児童生徒へのアンケート結果なども踏まえて分析する必要がある、との見解が示された。

6 その他

（1）行事予定について

以下の行事予定が確認された。

- 10月21日（火）～11月14日（金）： 保育施設・放課後児童クラブ申請受付
- 10月25日（土）： 中学校文化発表会
- 10月27日（月）： 英語検定 一次試験可否公開日
- 11月1日（土）～3日（月）： 文化協会の発表会
- 11月2日（日）： 江北町表彰式
- 11月9日（日）： 英語検定 二次試験日（一次合格者には町で対策講座を実施）

（２）次回定例会について

次回は令和 7 年 11 月 7 日（金）に総合教育会議が開催されるため、総合教育会議（14 時開始予定）終了後に定例教育委員会を開催する予定であることが確認された。

7 閉会

以上をもって、定例教育委員会は閉会した。

教 育 長

牟 田 久 俊

教育委員（教育長職務代理者）

浪 瀬 隆 一

教育委員

田 中 薫

こども教育課長

坂 元 弘 睦